

## 1. 製品及び会社情報

製品名 NT02-M1 (可食性インク)  
会社名 ユニオンケミカル株式会社  
住所 〒573-1132 大阪府枚方市招提田近3-10  
担当部門 新事業開発室  
電話番号 072-856-3321  
FAX番号 072-866-2647  
推奨用途 食品添加物 (着色料)

## 2. 危険有害性の要約

### GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分3
健康に対する有害性	急性毒性 (経口)	分類できない
	急性毒性 (経皮)	分類できない
	急性毒性 (吸入)	分類できない
	皮膚腐食性及び皮膚刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2A
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	区分1A
	生殖毒性	区分1A
	特定標的臓器毒性, 単回ばく露	区分3 (気道刺激性、麻酔作用)
	特定標的臓器毒性, 反復ばく露	区分1 (肝臓) 区分2 (中枢神経系)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性)	分類できない
	水生環境有害性 (長期間)	分類できない

### ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険

### 危険有害性情報

引火性液体及び蒸気  
強い眼刺激  
呼吸器への刺激のおそれ  
眠気又はめまいのおそれ  
発がんのおそれ  
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓の障害  
長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系の障害のおそれ

### 注意書き

#### 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙  
容器を接地すること/アースをとること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。  
火花を発生させない工具を使用すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

NT02-M1 (可食性インク)

作成日： 2016年7月5日

改訂日： —

取扱い後は手をよく洗うこと。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

**【応急措置】**

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
皮膚に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。  
眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。  
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。  
火災の場合：消火するために適切な消火剤を使用すること。  
気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。

**【保管】**

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

**【廃棄】**

内容物/容器の廃棄は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 混合物

成分	重量 %	CAS No.	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)
ベニコウジ色素	40~45%	—	—
エタノール	20~30%	64-17-5	2-202
グリセロール類	5~15%	登録有り	登録有り
その他添加剤	<1%	登録有り	登録有り
精製水	15~25%	7732-18-5	—

## 4. 応急処置

吸入した場合 空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師に連絡する。  
皮膚に付着した場合 多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は医師の診断/手当てを受ける。  
目に入った場合 水で数分間注意深く洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合、医師の診断/手当てを受ける。  
飲み込んだ場合 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪いときは医師の診断/手当てを受けること。  
予想される急性症状及び遅発性症状 情報なし  
最も重要な兆候及び症状 情報なし  
医師に対する特別注意事項 情報なし

## 5. 火災時の措置

消火剤 粉末消火剤、泡消火剤、炭酸ガス  
使ってはならない消火剤 棒状注水  
特有の危険有害性 情報なし  
特有の消火方法 消火作業は風上から行い、状況に応じた適切な消火方法を用いる。  
周辺火災の場合、容器は速やかに安全な場所へ移動させる。  
消火を行う者の保護 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

吸入や皮膚に接触しない様、適切な保護具 (『8. ばく露防止及び保護措置』を参照) を着用し、換気をよくして処理作業を行う。作業員以外の立入りを禁止する。

環境に対する注意事項

排水溝、下水道、河川等への流出を防ぐ。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

吸着剤 (おがくず・砂・ウエス等) で吸着させ取り除いた後、残りをウエス等でよく拭き取る。

二次災害の防止策

漏出物の上をむやみに歩かない。  
付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の保護具を着用する。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。

局所排気・全体換気

静電気放電に対する予防措置を講ずること。

安全取扱注意事項

局所排気装置又は全体換気設備等により換気を十分に行う。  
みだりに火気その他着火源となる恐れのあるものに接近させたり、加熱しない。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。  
蒸気の吸入、眼や皮膚への接触を避ける。  
取扱い後は手や顔をよく洗い、うがいをする。  
汚染された作業衣は脱ぎ、再利用する場合は洗濯する。  
使用後は容器を密閉する。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照

保管

技術的対策

保管場所には照明及び換気の設備を設ける。  
火気その他着火源となる恐れのあるもの、熱源から遠ざけて保管する。

保管条件

直射日光、高温を避け、室温で保管する。

混蝕禁止物質

『10. 安定性及び反応性』を参照

安全な容器包装材料

製品使用容器に準ずる。

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度

成分名	管理濃度	許容濃度		
		日本産業衛生学会	ACGIH (TWA)	ACGIH (STEL)
エタノール	—	—	—	1000ppm (2013)

設備対策

取扱い場所の近くに洗面、洗眼設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

保護マスク

手の保護具

保護手袋

眼の保護具

保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

保護服 (長袖作業服、帽子等)

適切な衛生対策

取扱い後は、十分に手を洗う。

## 9. 物理的および化学的性質

外観 (物理的状態、形状、色など)

赤色の液体

臭い

特異臭

臭いのしきい (閾) 値

データなし

pH

データなし

融点・凝固点

データなし

沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

引火点

31.5°C (タグ密閉式)

蒸発速度

データなし

燃焼性 (固体、気体)

データなし

燃焼又は爆発範囲の上限・下限

データなし

NT02-M1 (可食性インク)

作成日： 2016年7月5日

改訂日： —

蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重 (相対密度)	データなし
溶解度	水に可溶
n-オクタノール/水分分配係数	データなし
自然発火温度	データなし
分解温度	データなし
粘度 (粘性率)	データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性、化学的安定性	通常の取扱い条件下においては安定。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	直射日光、高温
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	混合物として区分外。
急性毒性 (経皮)	混合物として分類できない。
急性毒性 (吸入)	混合物として分類できない。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	混合物として分類できない。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分2Bの成分を10%以上含有しているため、混合物として区分2Aとした。
呼吸器感作性	混合物として分類できない。
皮膚感作性	混合物として分類できない。
生殖細胞変異原性	混合物として分類できない。
発がん性	区分1Aの成分を0.1%以上含有しているため、混合物として区分1Aとした。
生殖毒性	区分1Aの成分を0.3%以上含有しているため、混合物として区分1Aとした。
特定標的臓器毒性, 単回ばく露	区分3 (気道刺激性、麻酔作用) の成分を20%以上含有しているため、混合物として区分3 (気道刺激性、麻酔作用) とした。
特定標的臓器毒性, 反復ばく露	区分1 (肝臓) 区分2 (中枢神経系) の成分を10%以上含有しているため、混合物として区分1 (肝臓) 区分2 (中枢神経系) とした。
吸引性呼吸器有害性	混合物として分類できない。

## 混合物のGHS分類に寄与した成分の健康有害性分類結果

成分名	有害性情報
エタノール	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分2B、発がん性 区分1A、生殖毒性 区分1A、特定標的臓器毒性, 単回ばく露: 区分3 (気道刺激性、麻酔作用) 特定標的臓器毒性, 反復ばく露: 区分1 (肝臓)、区分2 (中枢神経系)

## 12. 環境影響情報

水生環境有害性 (急性)	混合物として分類できない。
水生環境有害性 (長期間)	混合物として分類できない。
生態毒性	混合物としてデータなし。
残留性・分解性	混合物としてデータなし。
生体蓄積性	混合物としてデータなし。
土壌中の移動性	混合物としてデータなし。
オゾン層への有害性	混合物としてデータなし。

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	関連法規ならびに地方自治体の基準に従い、適正に処分する。 委託処理を行う場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者と契約し、危険性、有害性を充分告知する。
汚染容器及び包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従い、適正に処分する。 容器、包装を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

NT02-M1 (可食性インク)

作成日： 2016年7月5日

改訂日： ー

## 14. 輸送上の注意

## 国内規制

陸上輸送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送	船舶安全法、港則法等に定められている輸送方法に従う。
航空輸送	航空法等に定められている輸送方法に従う。
輸送上の特別の安全対策	容器の転倒、落下、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。 水濡れや乱暴な取扱いを避ける。火気注意。
緊急時応急措置指針番号	127

## 国際規制

国連番号	1170
品名 (国連輸送品名)	ETHANOL (ETHYL ALCOHOL) or ETHANOL SOLUTION (ETHYL ALCOHOL SOLUTION)
国連分類	引火性液体類
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	施行令別表第9 名称等を通知すべき危険物及び有害物 エタノール 施行令別表第1 危険物 引火性の物
毒物及び劇物取締法	非該当
化学物質排出把握管理促進法	非該当
消防法	非危険物 (アルコール類除外)
船舶安全法	危規則第3条危険物告示別表第1 引火性液体類
食品衛生法	食品添加物

## 16. その他の情報

引用文献	第8版食品添加物公定書解説書 廣川書店 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE) GHS分類結果 事業者向けGHSガイダンス 平成25年度改訂版 (ver. 1.1) メーカー発行SDS
------	---

- 危険・有害性の評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分注意してください。
- この製品安全データシートは、当社の製品を適正にご使用いただくために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたもので、通常の実施を対象としたものです。
- 本製品は、この製品安全データシートをご参照の上、使用者の責任において適正に取り扱って下さい。
- ここに掲載された内容は、現時点で入手できた情報やメーカー所有の知見ですが、これらのデータや評価は、いかなる保証もするものではありません。また、法令の改正及び新しい知見に基づいて改訂されることがあります。